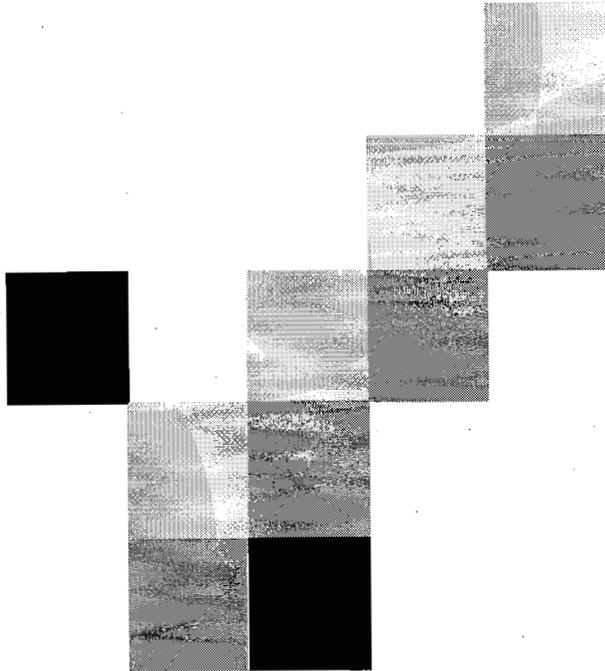


平成21年7月24日  
こども青少年・教育委員会資料  
こども青少年局



# 「次世代育成支援行動計画」 後期計画の策定について

# 1 次世代育成支援行動計画について

## (1) 次世代育成支援行動計画について

- 平成15年7月に成立した「次世代育成支援対策推進法」に基づき策定する市町村行動計画です。
- 市町村及び都道府県は、国が提示する行動計画策定指針に即して、達成すべき目標、講ずる措置の内容等を記載した行動計画を策定することとされています。

## (2) 計画期間

- 次世代育成支援対策推進法は、平成27年3月31日までの10年間の時限立法であり、行動計画は5年を一期として「前期計画」「後期計画」を策定します。  
＜計画期間＞ 前期計画 平成17年～21年度  
後期計画 平成22年～26年度

## (3) 横浜市次世代育成支援行動計画『かがやけ横浜こども青少年プラン』

- 横浜市では、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画として、平成17年4月に「かがやけ横浜子どもプラン」を策定しました。
- 平成18年度にこども青少年局が発足したことを踏まえ、20年4月に、『生まれる前から乳幼児期を経て、青少年期に至るまでのライフステージを縦断する一貫した施策』を推進するため、「横浜市青少年プラン」と統合しています。

## 2 行動計画(後期計画)の策定

### (1) 後期計画の策定

平成21年度に、次世代育成支援対策推進法に基づく後期計画(計画期間:平成22年度～26年度)を策定することとしています。

### (2) 行動計画策定指針

後期計画の策定にあたっては、厚生労働省より、策定に関する基本的な事項を定めた「行動計画策定指針」が提示されています。

#### <策定にあたっての基本的な視点>

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ①子どもの視点            | ②次代の親づくりという視点         |
| ③サービス利用者の視点        | ④社会全体による支援の視点         |
| ⑤すべての子どもと家庭への支援の視点 | ⑥地域における社会資源の効果的な活用の視点 |
| ⑦サービスの質の視点         | ⑧地域特性の視点              |

#### <市町村行動計画の内容>

- ①地域における子育ての支援
- ②母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進
- ③子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- ④子育てを支援する生活環境の整備
- ⑤職業生活と家庭生活の両立の推進
- ⑥子ども等の安全の確保
- ⑦要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

### 3 後期計画策定の実施体制

#### (1) 次世代育成支援行動計画推進協議会

○行動計画を確実に推進するとともに、計画内容の検証・評価、及び後期計画策定に係る協議を行うため、市民・事業者等からなる「横浜市次世代育成支援行動計画推進協議会」を設置しています。

＜構成メンバー＞ 学識者、医師、幼稚園関係者、保育所関係者、主任児童委員、NPO、PTA、青少年育成機関、障害児団体、労働者団体、経済団体、市民公募委員

#### (2) 分科会・専門部会の設置

○後期計画の策定にあたり、施策体系や目標等についての具体的な協議を行うため、推進協議会の下部組織として分科会・専門部会を設置しています。

＜分科会＞ 第1分科会(妊娠期～未就学期) 第2分科会(学齢期～青年期)  
合同分科会(母子家庭の自立支援、安心安全のまちづくり等)

＜専門部会＞ 社会的養護体制の充実

#### (3) 庁内連絡会の設置

○行動計画の推進及び後期計画の策定にあたっては、関係区局と連携して横断的に取り組んでいくことが重要となるため、平成21年より関係区局課長からなる「次世代育成支援行動計画庁内連絡会」を設置しています。

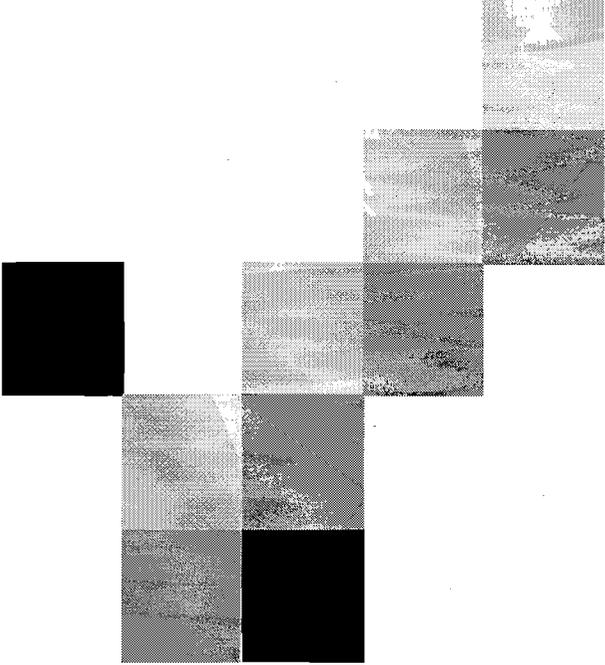
## 4 後期計画策定のスケジュール

5月	平成21年度第1回次世代育成支援行動計画推進協議会開催
7～10月	分科会・専門部会による検討
7～9月	シンポジウム開催等による市民意見の聴取
11月	平成21年度第2回次世代育成支援行動計画推進協議会開催
12～ 22年1月	後期計画素案公表 パブリックコメント実施
22年3月	平成21年度第3回次世代育成支援行動計画推進協議会開催 後期計画確定
22年4月	後期計画の公表

## 5 後期計画策定に係るニーズ調査の実施

○後期計画策定にあたり、子どもや子育て家庭の実態、支援ニーズ、サービスの利用状況等を把握し、後期計画策定のための基礎資料を得ることを目的として、平成20年度に調査を実施しました。

調査の種類	対象	実施時期	調査方法	有効回収数
①子育て支援に関するニーズ調査 【未就学児保護者】	未就学児の保護者 10,230人	平成20年11月7日 ～12月5日	郵送配布・ 郵送回収	4,866件 47.6%
②子育て支援に関するニーズ調査 【小学生保護者】	小学生の保護者 10,230人			4,047件 39.6%
③小学生基本調査	小学生 10,230人			小学生保護者と同 封配布・同封回収
④中・高校生生活意識調査	中学校8校 高校5校	平成20年12月	各学校において 実施	5,960件
⑤次世代育成支援に関する意識調査	18～49歳5,000人 50歳以上5,000人	平成20年11月7日 ～12月5日	郵送配布・ 郵送回収	4,374件 43.7%



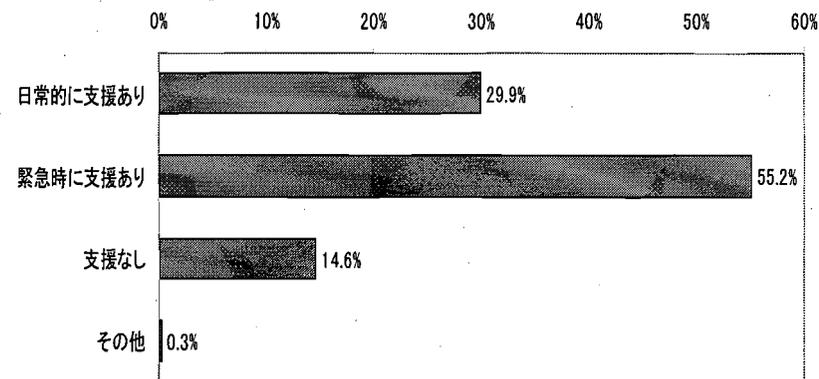
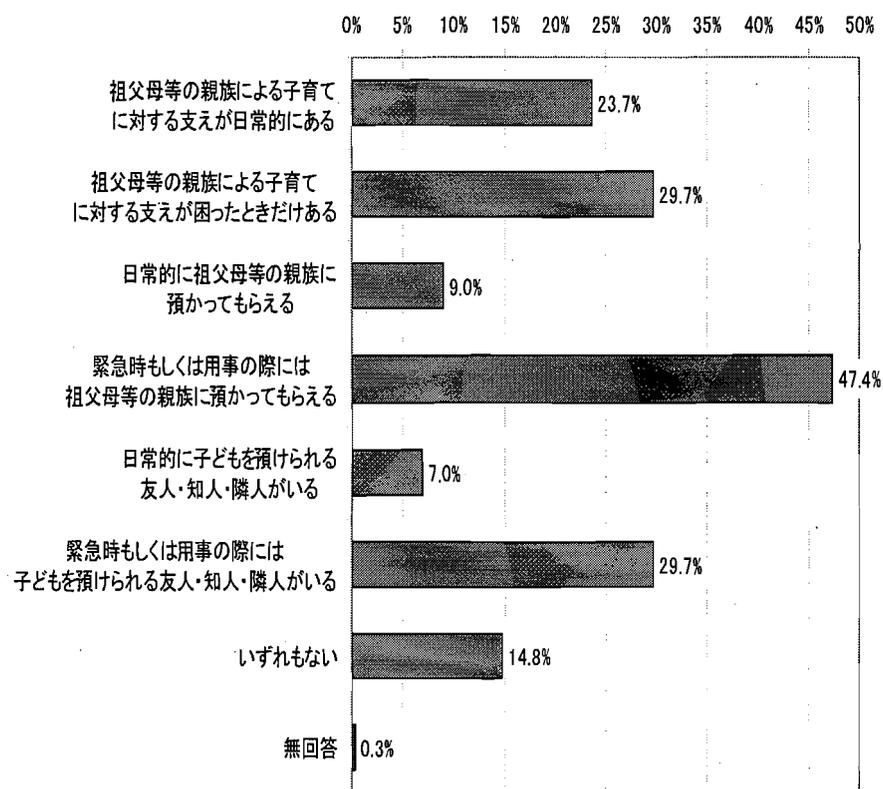
# 横浜市子育て支援に関するニーズ調査 【未就学児保護者】調査の結果概要

# 結果の概要

## (1) 子どもと家族の状況

### ① 子育てに対する周囲の支援

問12 日ごろ、子育てに対する支え(育児を手伝ってくれることなど)がありますか。(すべてに○)

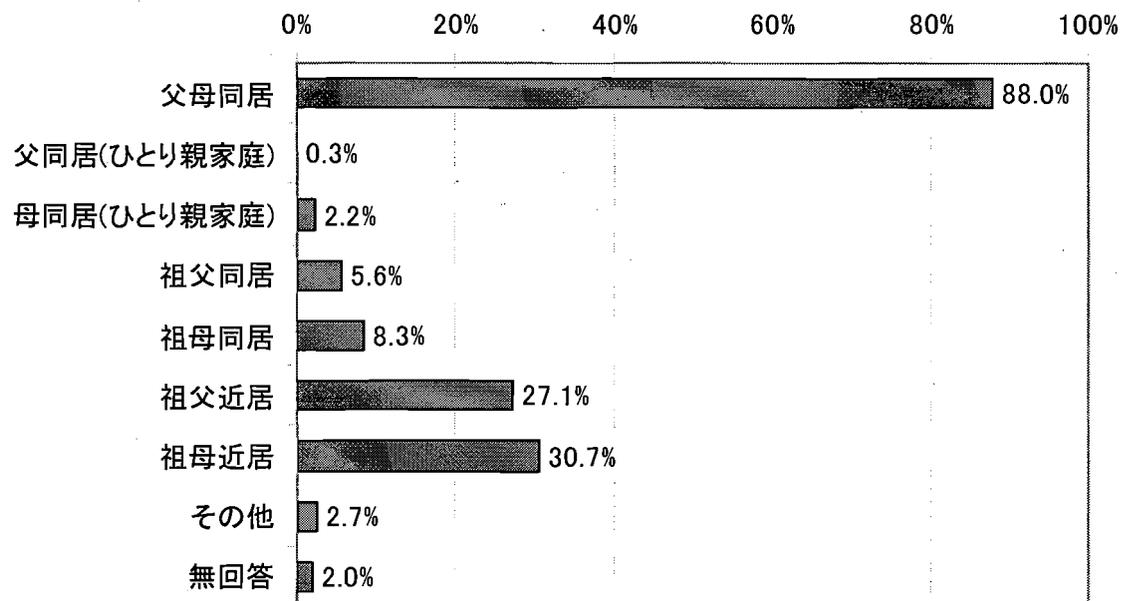


○祖父母や友人等の支援が「日常的にある」とした人が約3割。  
○「緊急時のみある」とした人が5割を超える。  
○「支援なし」とした人も14.6%いた。

## 結果の概要 (1)子どもと家族の状況

### ②同居・近居の状況

問4 あて名のお子さんとの同居・近居(徒歩や車、電車などで概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。

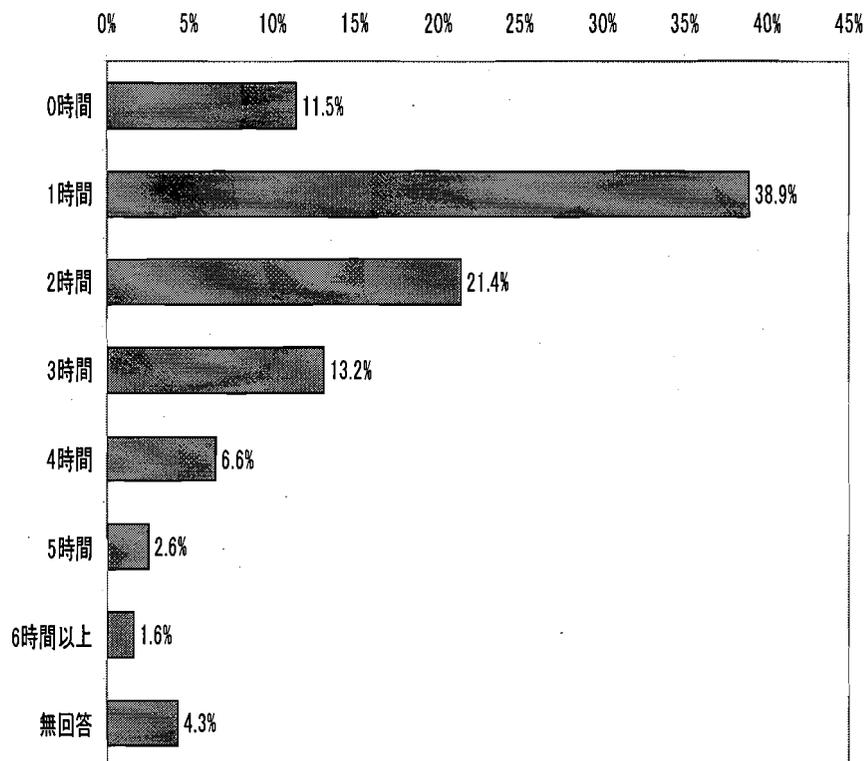


○9割近く(88.0%)が父親・母親と同居している。  
○祖父母それぞれとの同居は1割に満たないが、約3割が近居している。

## 結果の概要 (1)子どもと家族の状況

### ③子どもと過ごす時間

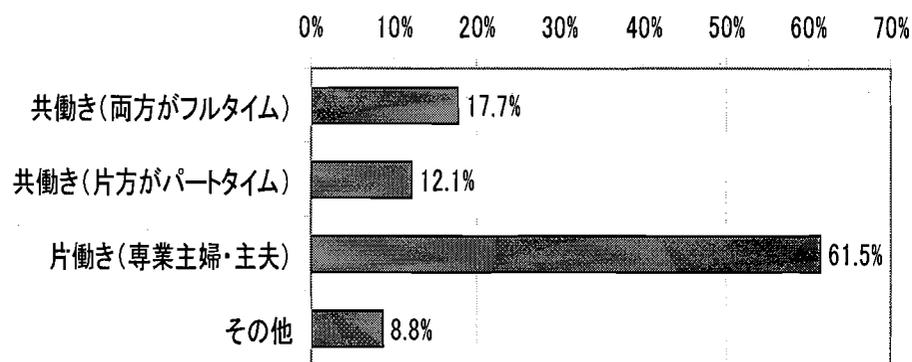
問9 平日、子どもが起きている時間に、子どもと一緒に過ごす時間は何時間くらいですか。(父親)



○「0時間」(11.5%)、「1時間」(38.9%)をあわせると、半数以上が1時間以下となっている。

## 結果の概要 (1)子どもと家族の状況

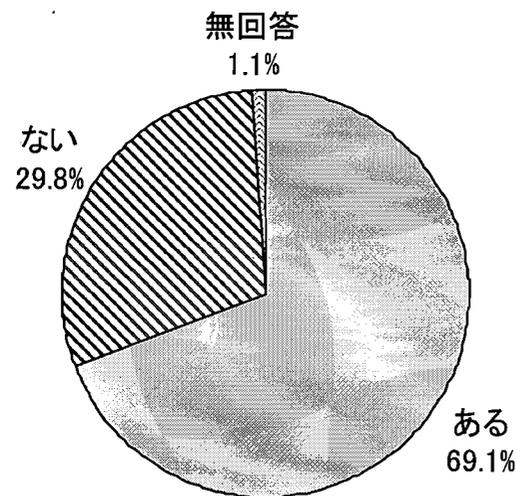
### ④保護者の就労状況



○片働き世帯が6割を占めている。

### ⑤現在働いていない保護者の就労希望

問14-1 就労希望はありますか。(1つに○)  
※お子さんの世話を主に行っている方で、  
現在就労していない方のみ



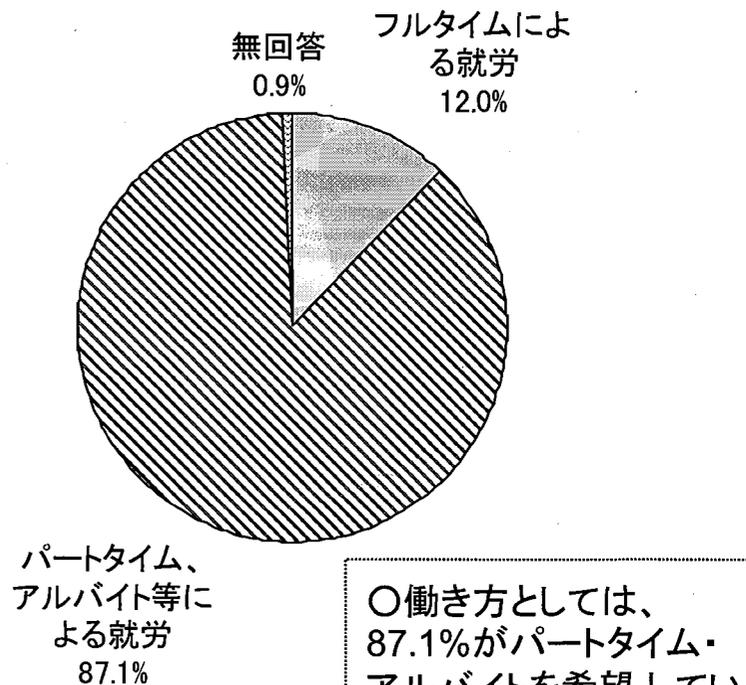
○現在働いていない保護者のうち、7割近くが「就労希望がある」と回答している。

## 結果の概要 (1)子どもと家族の状況

※問14-1で「就労希望がある」と答えた方のみ

### ⑥就労希望の形態

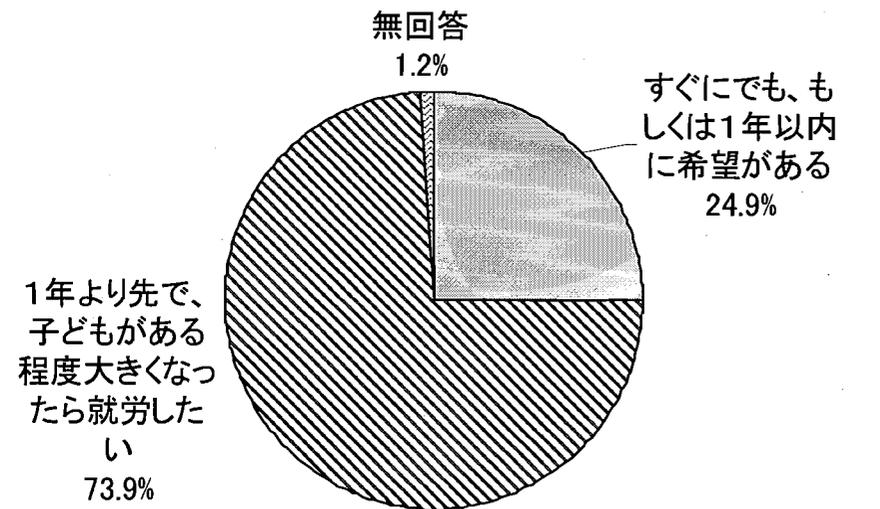
問14-2 就労希望の形態はどのようなものですか。(1つに○)



○働き方としては、87.1%がパートタイム・アルバイトを希望している。

### ⑦就労時期の希望

問14-4 就労の時期について、どのような希望がありますか。(最も近いもの1つに○)



○「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」とした人が7割を超える。

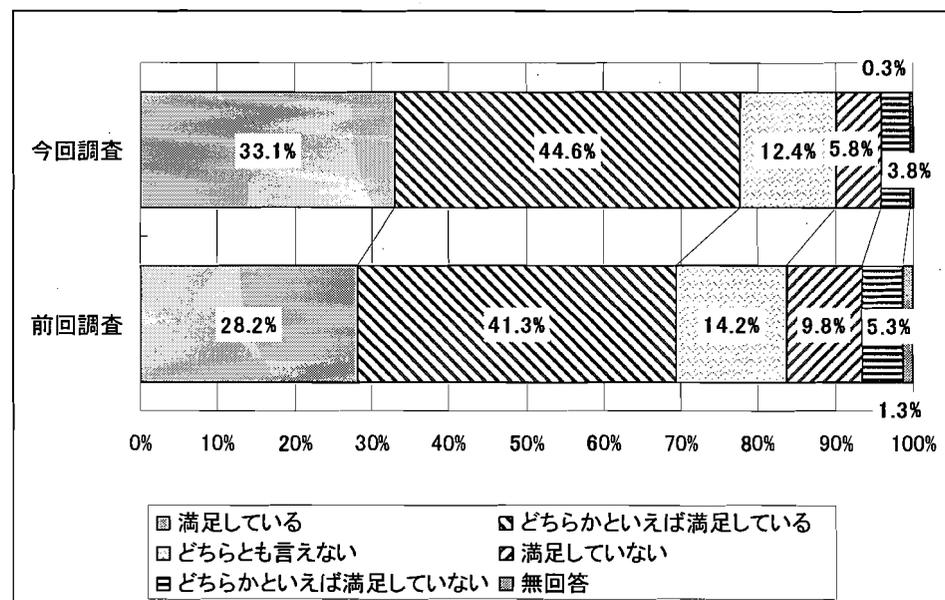
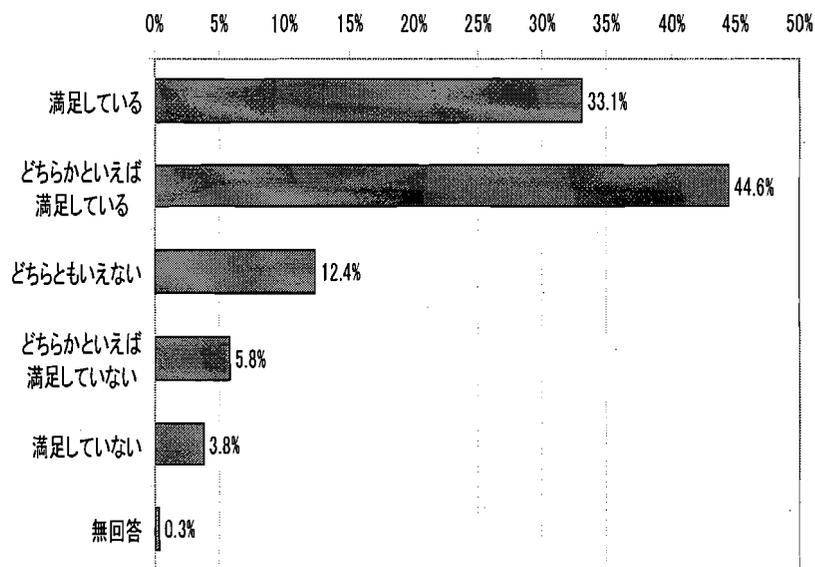
## 結果の概要

# (2) 子育てについての意識や考え方

## ⑧ 子育て生活の満足度

問18 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(1つに○)

【前期計画ニーズ調査結果(H15)との比較】



○「満足している」(33.1%)「どちらかといえば満足している」(44.6%)を合わせ、約8割と大半の保護者が子育て生活に満足していると回答している。

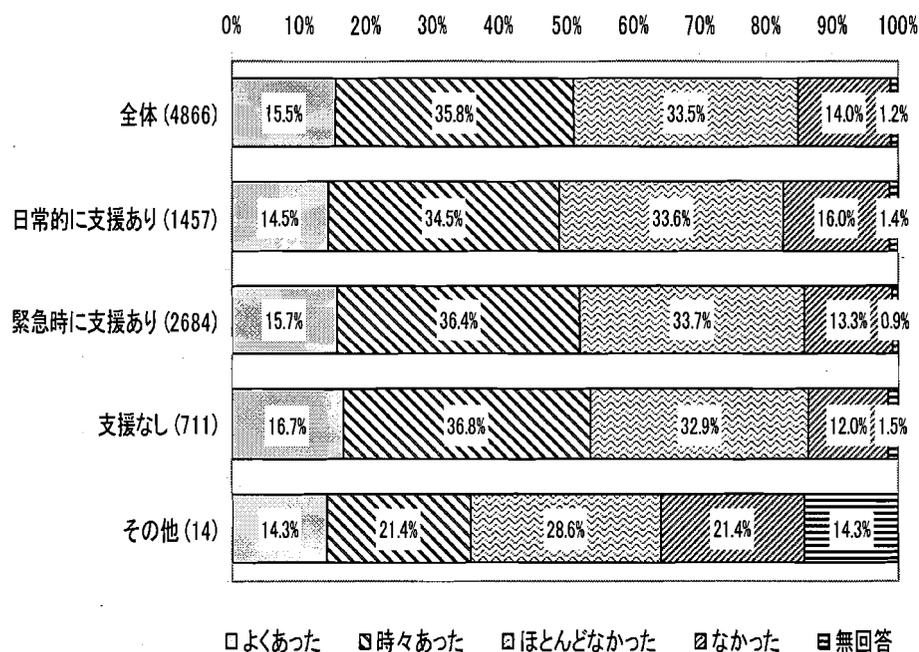
○前回調査と比較すると、「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計が8ポイント上昇している。

## 結果の概要 (2)子育てについての意識や考え方

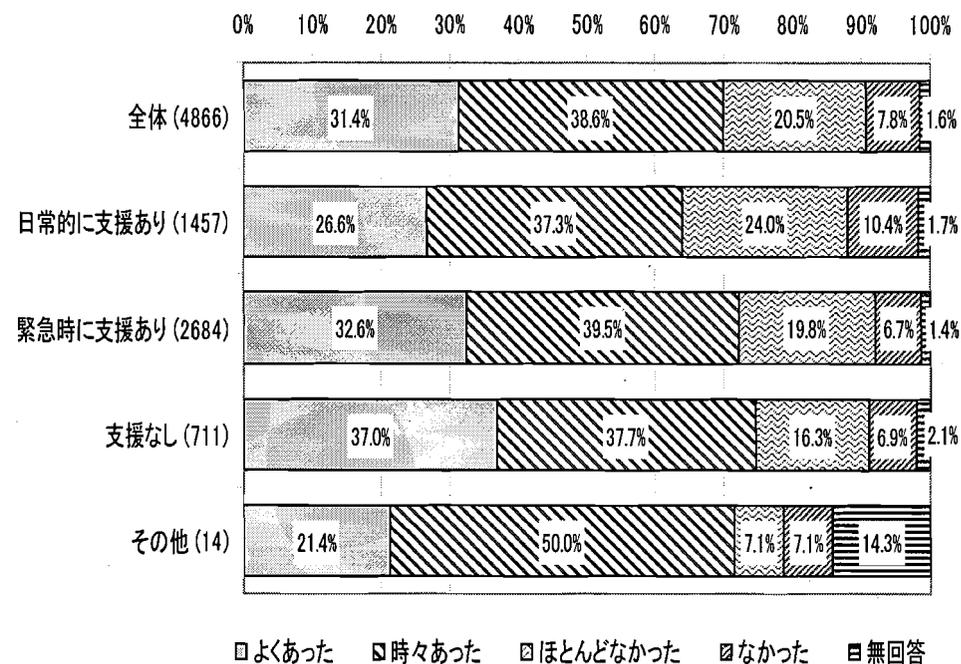
### ⑨子育てで不安を感じたり自信が持てなくなること

問24 子育てについて、不安を感じたり、自信がもてなくなることはありますか。(それぞれ1つに○)

#### 【妊娠中】



#### 【出産後、半年くらいの間】

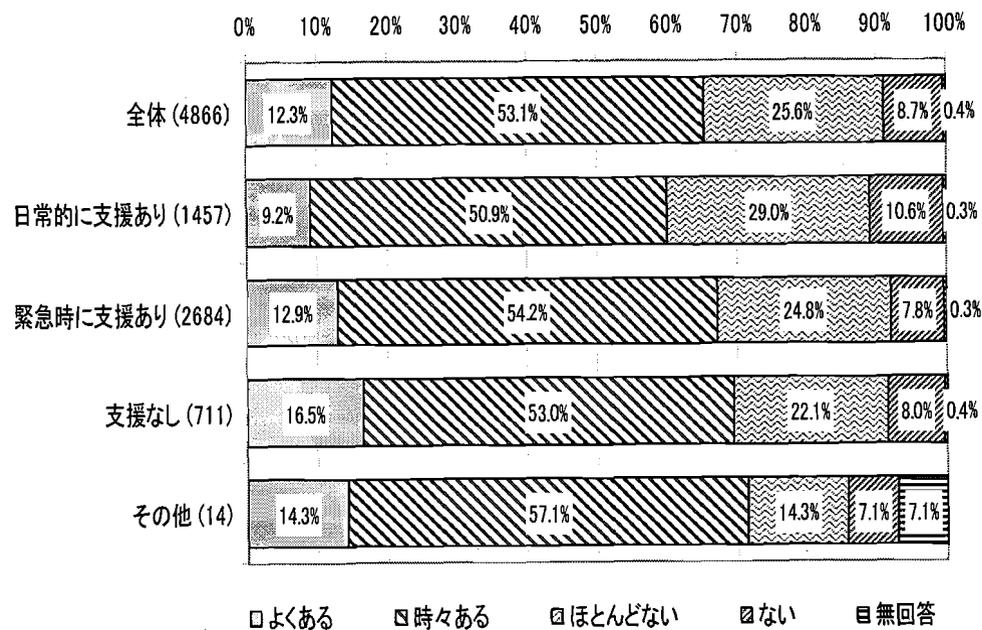


## 結果の概要 (2)子育てについての意識や考え方

### ⑨子育てで不安を感じたり自信が持てなくなること(続き)

問24 子育てについて、不安を感じたり、自信がもてなくなることはありますか。  
(それぞれ1つに〇)

【現在】

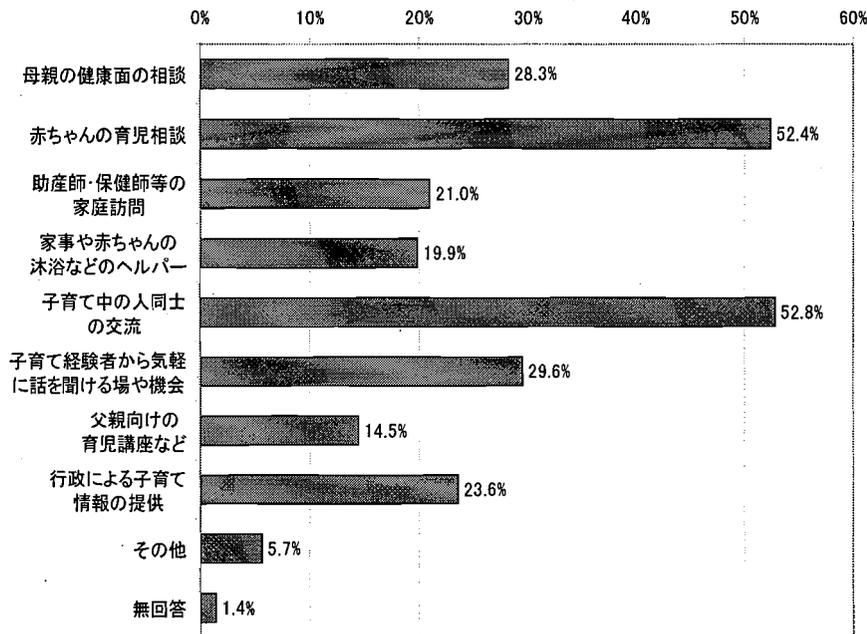


○どの時点でも、「よくあった」「時々あった」を合わせると、半数以上が不安を感じている。  
○「支援がない」とした人は、「支援がある」とした人よりも、「よくあった」とした人の割合が多い傾向がある。

## 結果の概要 (2)子育てについての意識や考え方

### ⑩妊娠中・出産後の支援

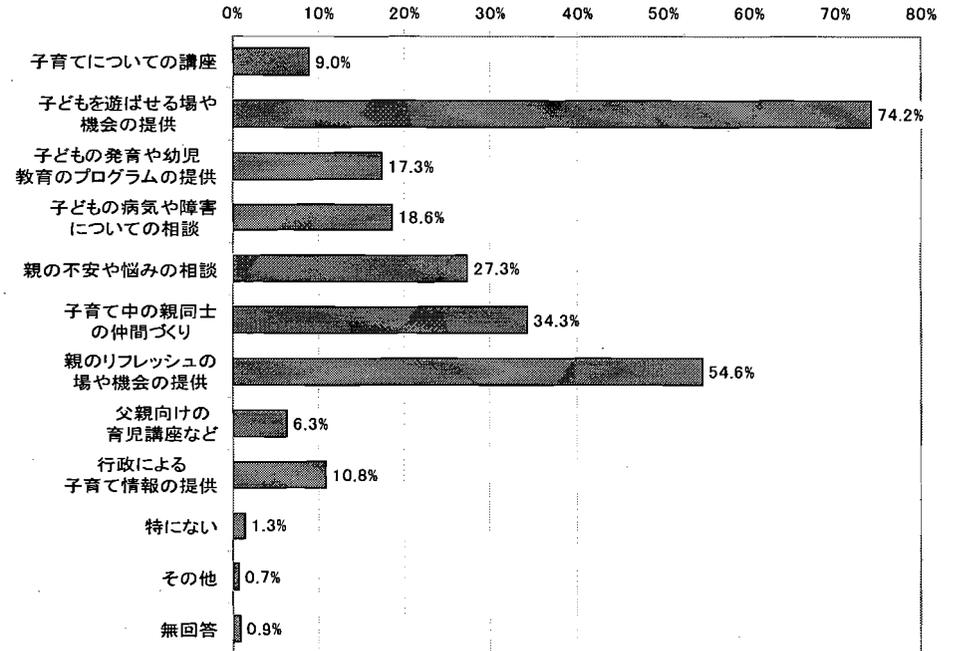
問25 妊娠中や出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。(3つまで○)



○「子育て中の人同士の交流」(52.8%)と「赤ちゃんの育児相談」(52.4%)が半数を超え特に多い。

### ⑪子育て中の支援

問26 日常の子育てを楽しく、安心して行なうために必要なサポートとはどのようなものだと思いますか。(3つまで○)



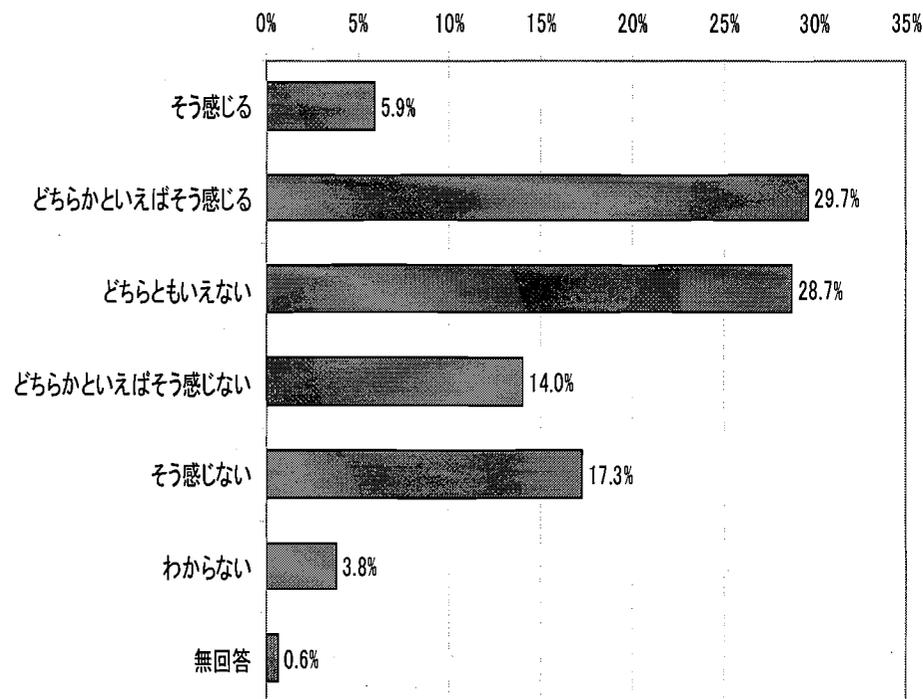
○「子どもを遊ばせる場や機会の提供」(74.2%)が特に多い。また、「親のリフレッシュの場や機会の提供」(54.6%)、「子育て中の親同士の仲間づくり」(34.3%)がこれに次いでいる。

## 結果の概要

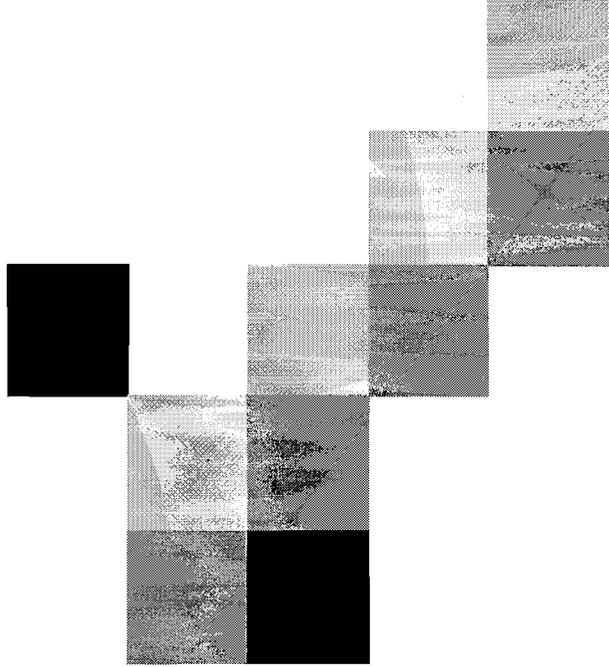
### (3) 子育ての環境

#### ⑫ 横浜の子育てのしやすさ

問49 横浜は、子育てしやすいまちだと感じますか。(1つに○)



○「子育てしやすい」と感じる層、  
「そう感じない」層、  
「どちらともいえない」とした層が、  
それぞれ3割前後となっている。



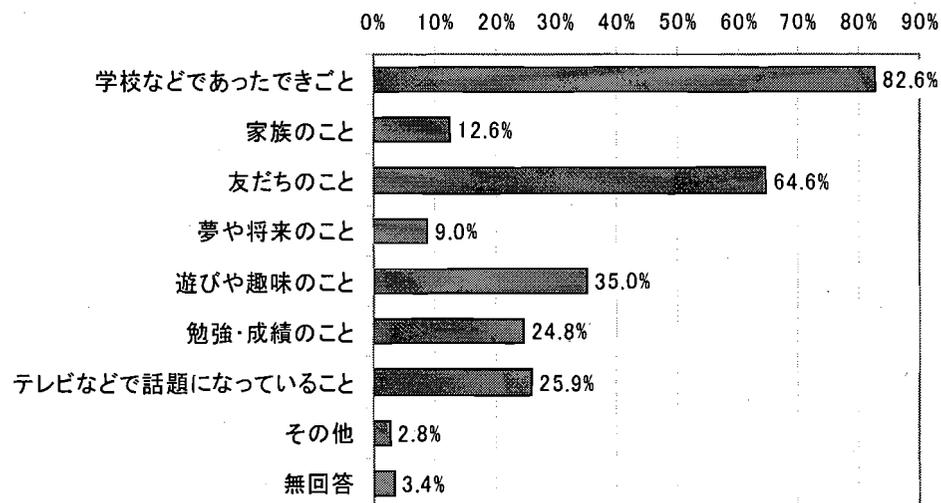
# 小学生基本調査の結果概要

# 結果の概要

## (1)小学生の生活の状況

### ①家族との会話の内容

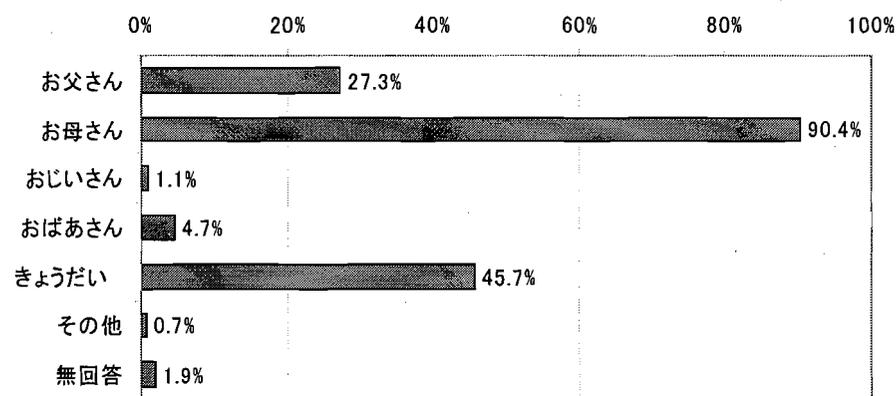
問4 おうちの人と普段どのような話をしますか。(3つまで○)



○「学校などであったできごと」が82.6%と最も多く、次いで「友だちのこと」が64.6%と続く。

### ②家族でよく話をする人

問5 おうちの人でよく話をするのは誰ですか(2つまで○)

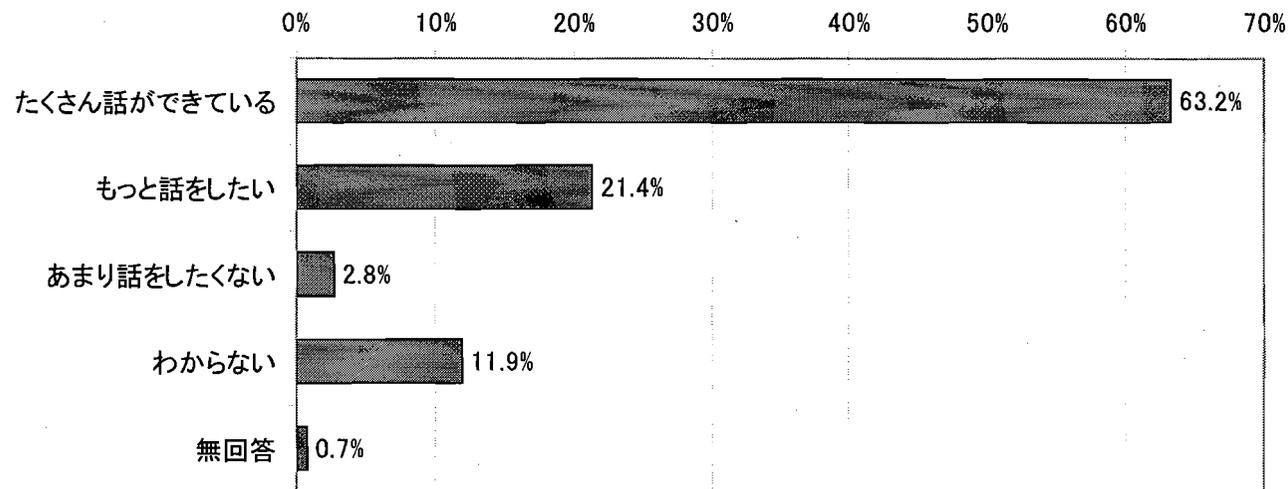


○「お母さん」が最も多く9割を超える(90.4%)。

## 結果の概要 (1)小学生の生活の状況

### ③家族との会話についてどう思うか。

問6 おうちの人との会話について、どのように思いますか。(1つに○)

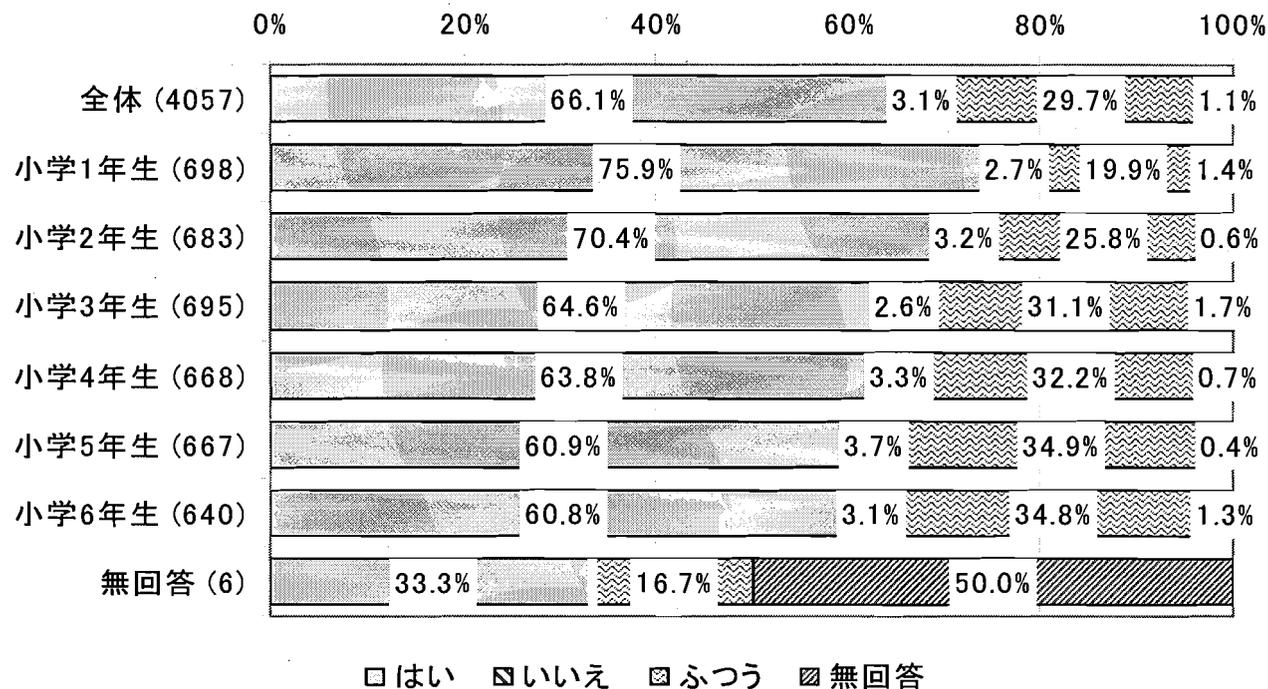


○「たくさん話ができている」とした人が63.2%と最も多いが、「もっと話したい」とした人も2割を超える(21.4%)。

## 結果の概要 (1)小学生の生活の状況

### ④学校は楽しいか。

問8 学校は楽しいですか。(1つに○)

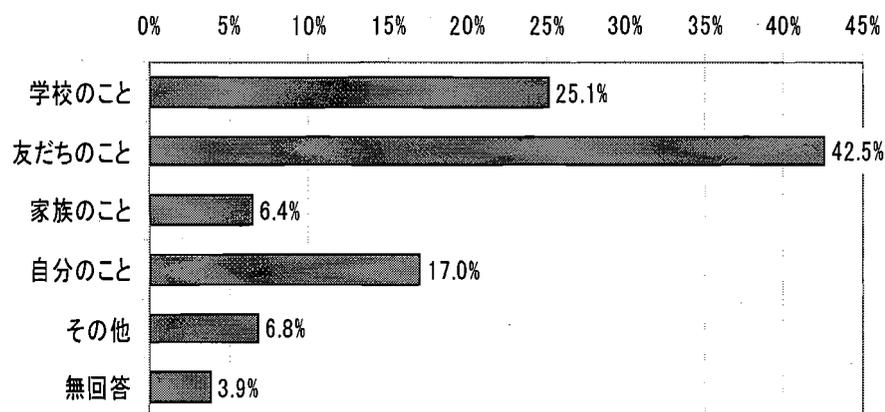


○全体では「はい」が最も多く66.1%、次いで「ふつう」(29.7%)と続く。  
○学年別にみると、低学年ほど「はい」が多く、小学1、2年生では7割を超えている。

## 結果の概要 (1)小学生の生活の状況

### ⑤どんなことを悩んでいるか。

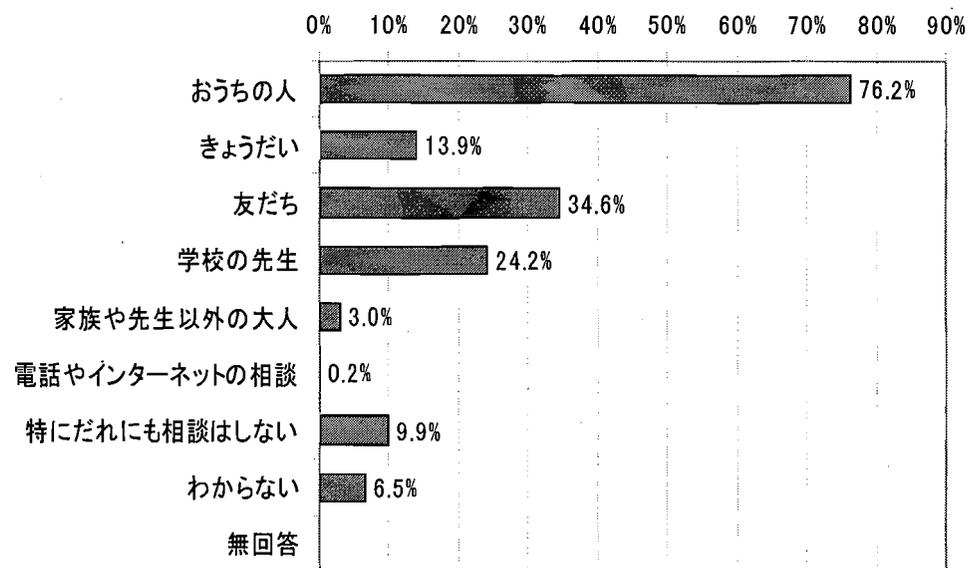
問10 どんなことを悩んでいますか。  
(1つに○)



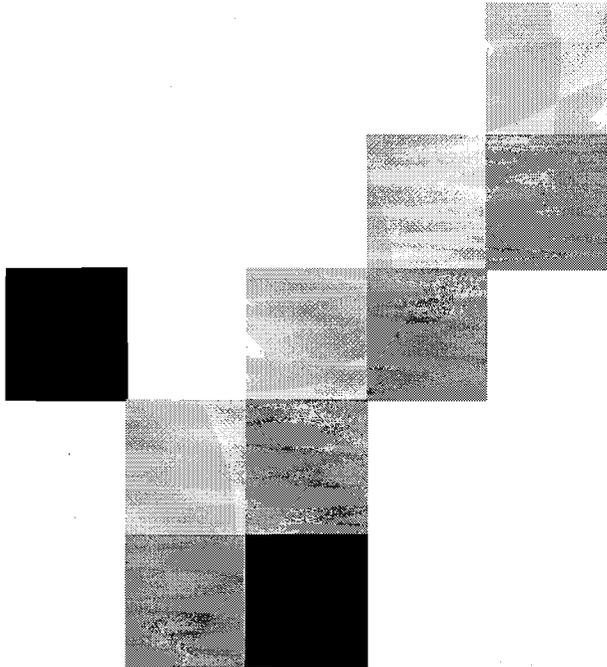
○「友だちのこと」が42.5%と最も多く、次いで「学校のこと」が25.1%と続く。

### ⑥悩みを誰に相談するか。

問11 悩みがあるときや困ったときに誰に相談しますか。(すべてに○)



○「おうちの人」が76.2%と最も多く、次いで「友だち」が34.6%と続く。「学校の先生」も2割を超える(24.2%)。



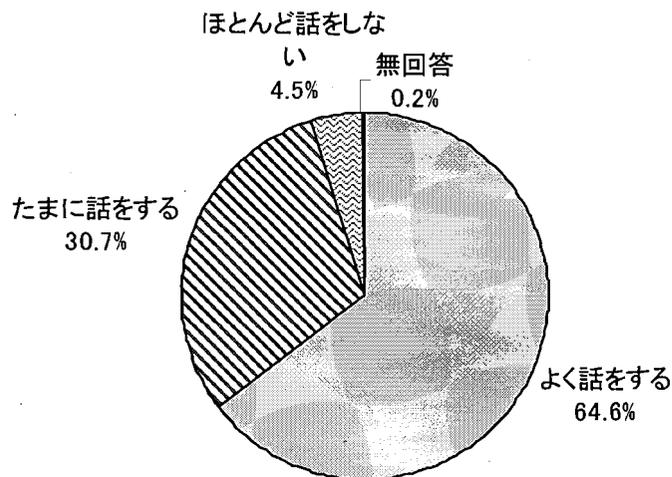
# 中・高校生の生活に関する 意識調査の結果概要

# 結果の概要

## (1) 生活環境について

### ① 保護者との会話

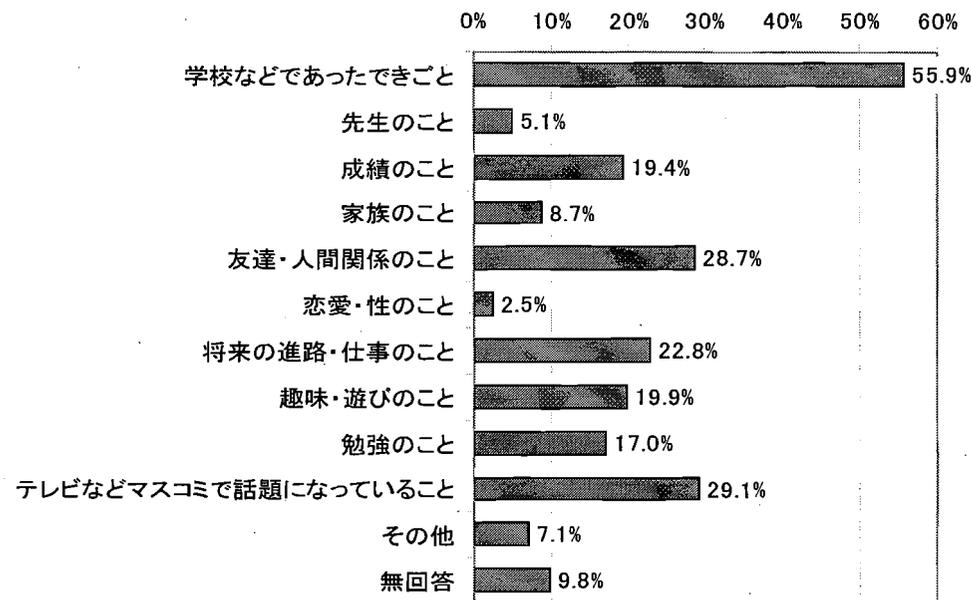
問6 保護者と話をしますか。(1つに○)



○「よく話をする」が6割を超える(64.6%)。  
○「ほとんどしない」は4.5%となっている。

### ② 保護者との会話の内容

問8 保護者とどんな話をしますか。  
(3つまで○)



○「学校などであったできごと」が最も多く5割を超える。  
○次いで「友達・人間関係」(28.7%)「マスコミで話題になっていること」(29.1%)が3割近い。

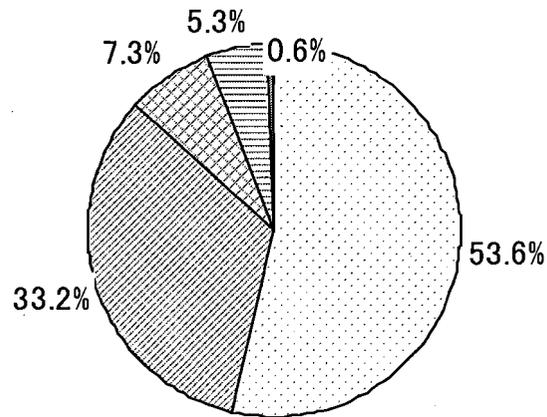
## 結果の概要

# (2) 学校生活について

### ③ 学校生活は楽しいか

問16 学校生活は楽しいですか。  
(1つに○)

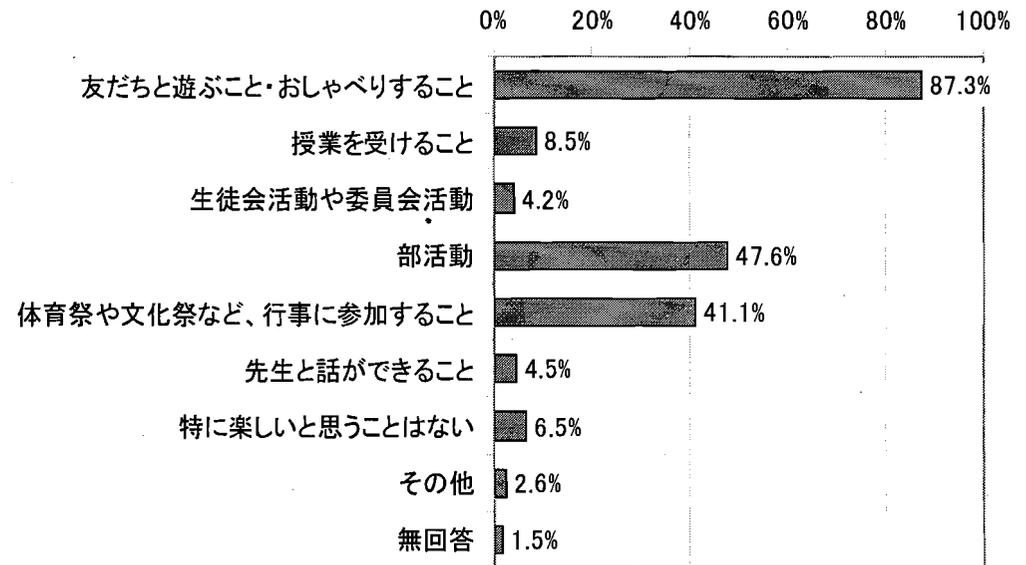
- 楽しい
- ▨ どちらかといえば楽しい
- ▩ どちらかといえば楽しくない
- 楽しくない
- 無回答



○「楽しい」「どちらかといえば楽しい」をあわせると、約9割(87%)が学校生活は楽しいと回答している。

### ④ 学校生活で楽しいこと

問17 学校生活で楽しいと思うことはなんですか。(3つまで○)

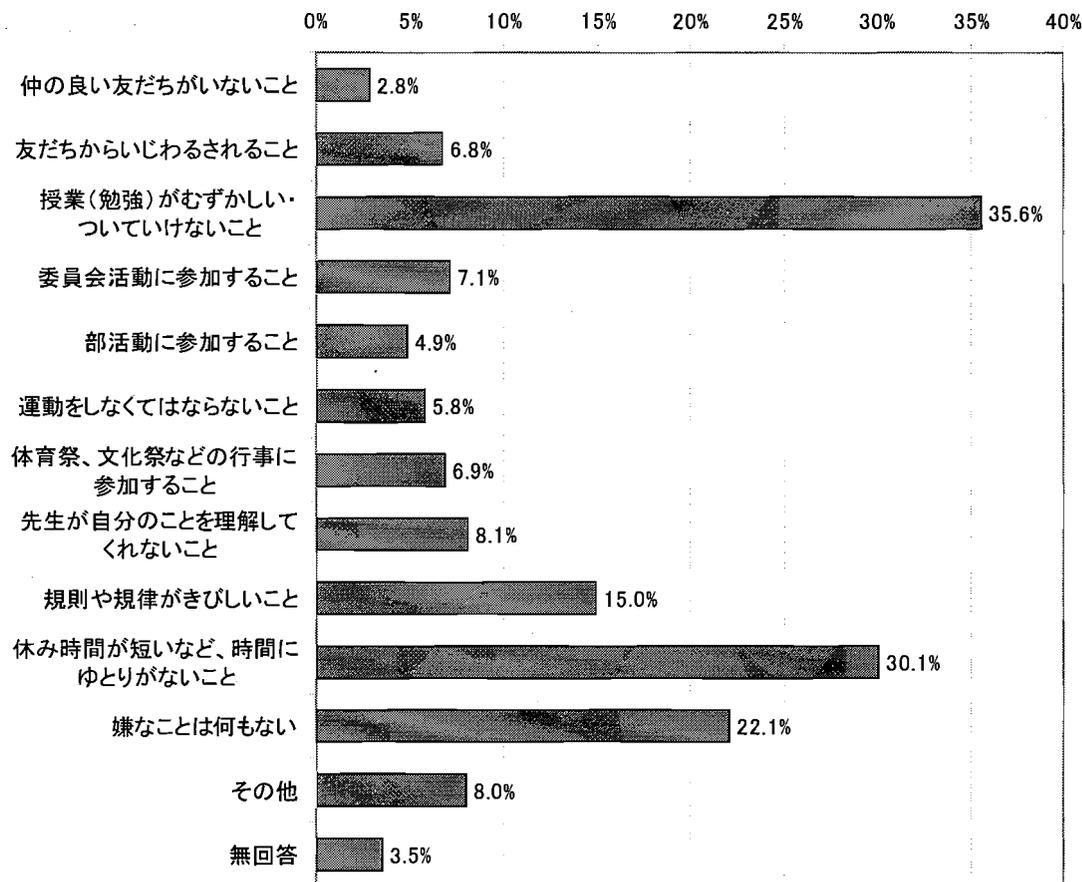


○「友だちと遊ぶこと・おしゃべりすること」が約9割(87.3%)と最も多くなっている。  
○「部活動」が約5割(47.6%)、「体育祭や文化祭などの行事への参加」が41.1%と続く。

## 結果の概要 (2)学校生活について

### ⑤学校生活でいやなこと

問18 学校生活でいやなことは何ですか。(3つまで○)



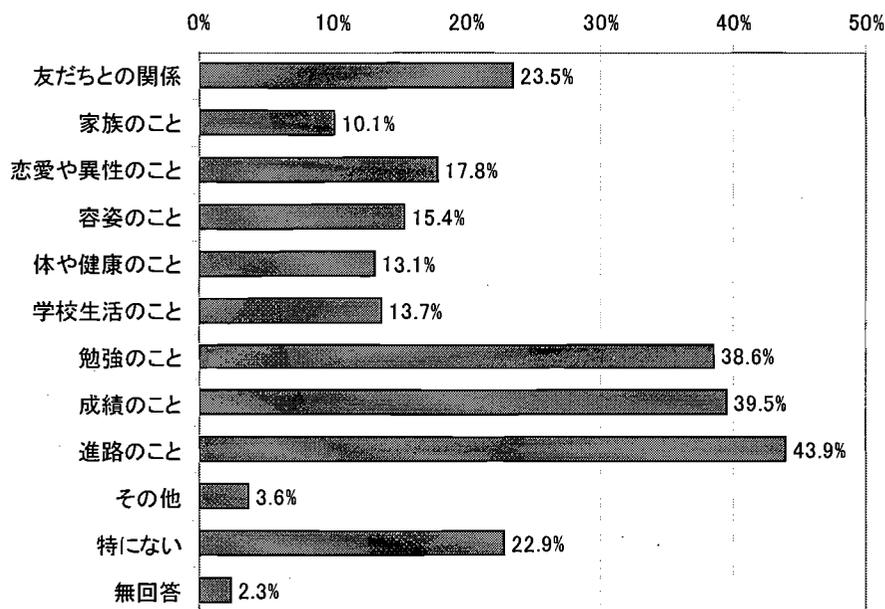
○「授業(勉強)がむずかしい・ついていけないこと」が35.6%と最も多く、次いで、「休み時間が短いなど、時間にゆとりがないこと」が約3割(30.1%)となっている。  
○「嫌なことは何もない」は約2割(22.1%)となっている。

## 結果の概要

### (3) 日ごろの意識や考え方

#### ⑥ 悩み事があるか

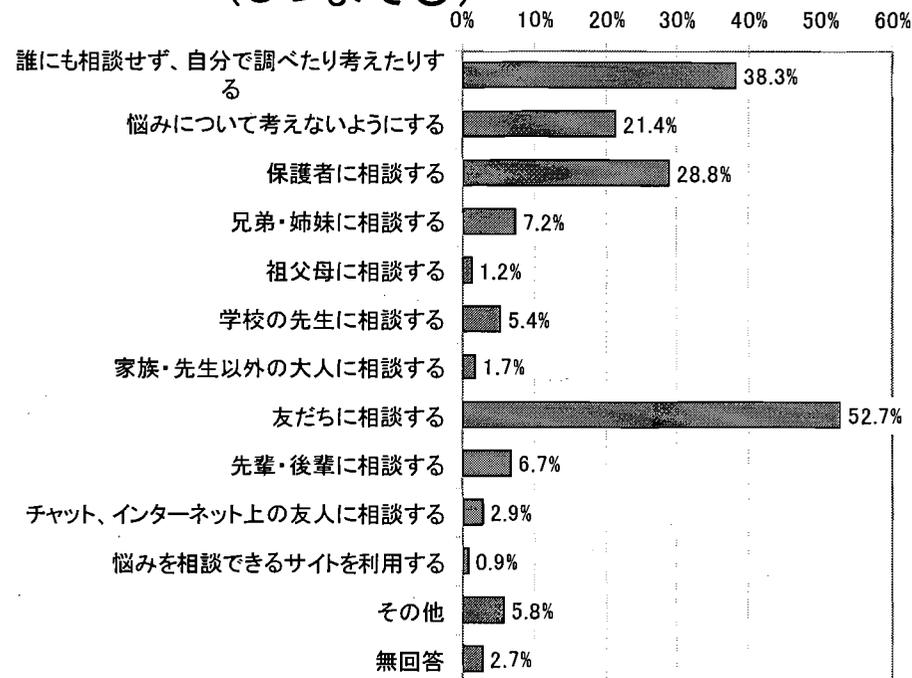
問35 悩み事がありますか。  
(すべてに○)



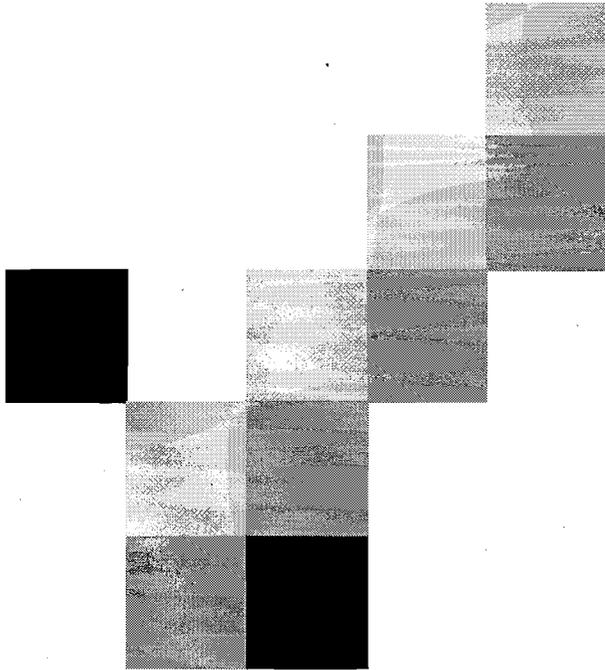
○「進路のこと」(43.9%)、「成績のこと」(39.5%)、「勉強のこと」(38.6%)が約4割と多くなっている。次いで「友だちとの関係」が2割を超える(23.5%)。

#### ⑦ 悩んだときどうするか

問36 悩んだときにどうしますか。  
(3つまで○)



○「友だちに相談する」が5割を超え、最も多い(52.7%)。「誰にも相談せず、自分で調べたり考えたりする」も4割近く(38.3%)、「保護者に相談する」が28.8%と続く。○「悩みについて考えないようにする」も21.4%という結果であった。



# 次世代育成支援に関する 市民意識調査の結果概要

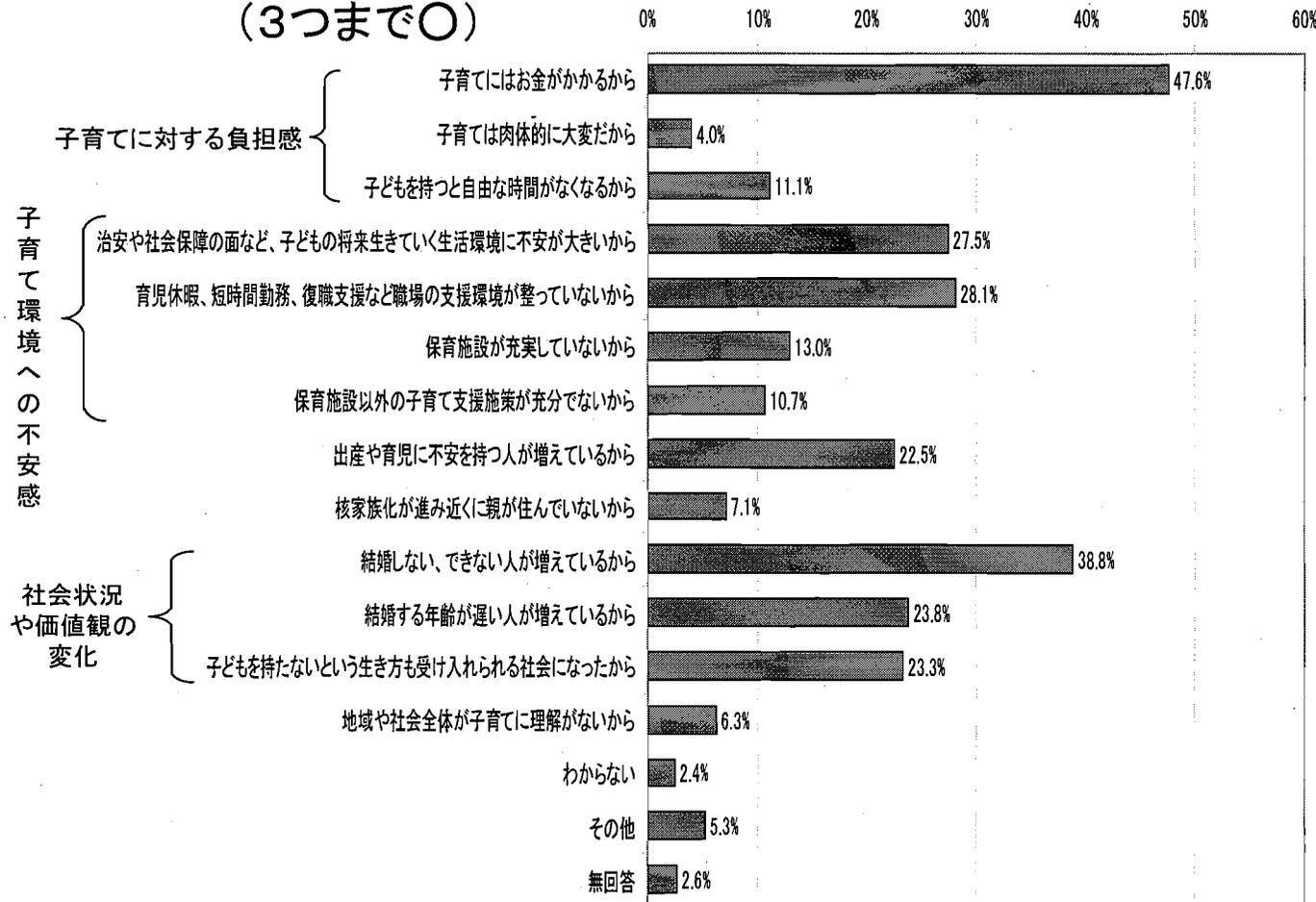
# 結果の概要

## (1) 少子化の背景と対策

### ① 少子化の背景について

問14 少子化の背景について、どのようなことが考えられると思いますか。

(3つまで○)

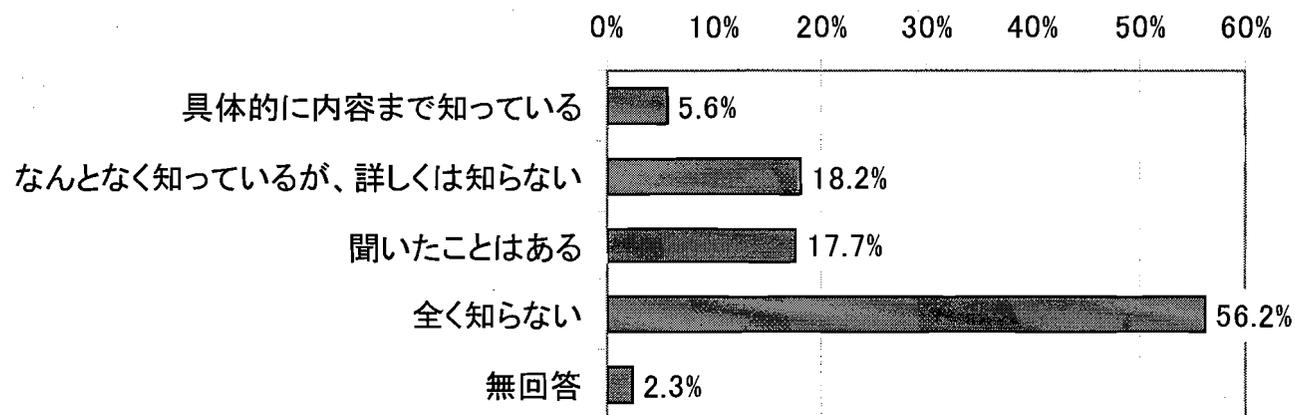


○「子育てにはお金がかかるから」が最も多く5割近い(47.6%)。  
○次いで「結婚しない、できない人が増えているから」(38.8%)、「育児休暇、短時間勤務、復職支援など職場の支援環境が整っていないから」(28.1%)、「治安や社会保障の面など、子どもの将来生きていく生活環境に不安が大きいから」(27.5%)が、3割前後と続く。

## 結果の概要 (1) 少子化の背景と対策

### ②ワーク・ライフ・バランスの認知状況

問22 ワーク・ライフ・バランスについて知っていましたか。(1つに○)



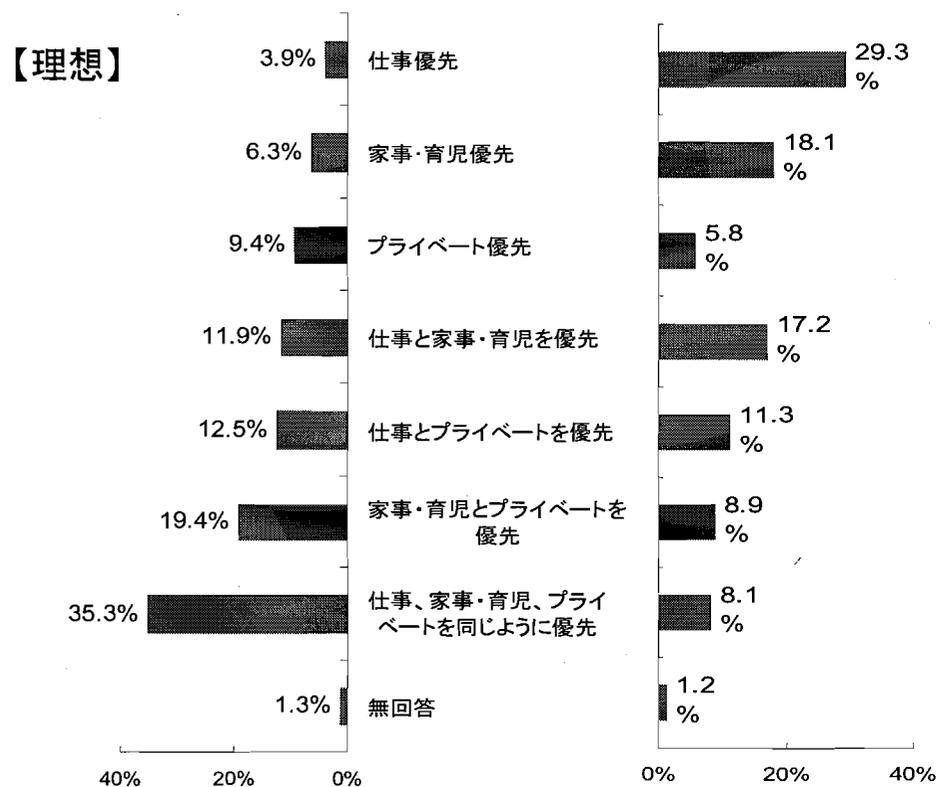
○「全く知らない」とした人が半数を超える(56.2%)。  
○「具体的に内容まで知っている」(5.6%)、「なんとなく知っているが、詳しくは知らない」(18.2%)をあわせても、知っているとした人は約2割に留まっている(23.8%)。

## 結果の概要 (1) 少子化の背景と対策

### ③ワーク・ライフ・バランスの理想と現実(49歳以下)

問27 あなたの理想に近いものはどれですか。(1つに○)

問28 現実の時間の使い方はどのようになっていますか。(1つに○)



#### 【現実】

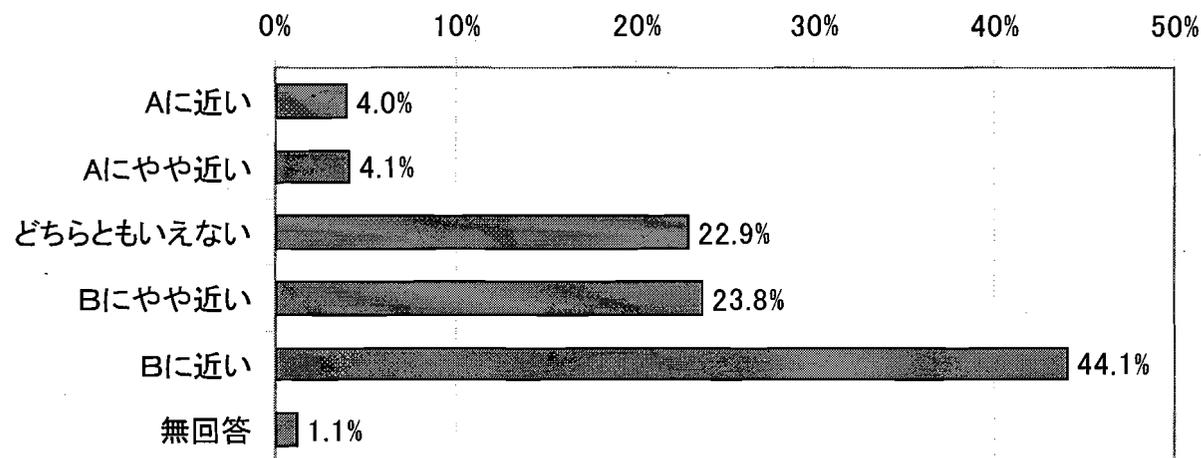
○理想では、「仕事、家事・育児、プライベートを同じように優先」したい人が35.3%と最も多いが、実現できている人は8.1%に留まり、現実では「仕事優先」が29.3%と最も多い。

## 結果の概要 (1) 少子化の背景と対策

### ④結婚についての考え(49歳以下)

問34 結婚について、どちらの考えに近いですか。(1つに○)

「A: 一生結婚しなくてもよいと思う」—「B: 結婚はしたほうがよいと思う」



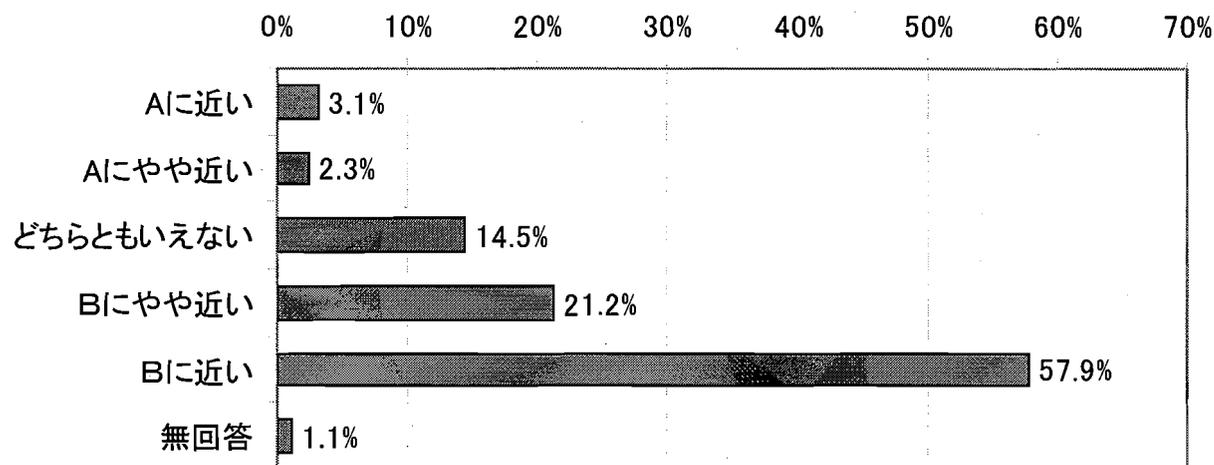
○B「結婚はした方がよいと思う」に最も近い「Bに近い」が44.1%と最も多く、「Bにやや近い」(23.8%)とあわせると、67.9%が「結婚はした方がよい」と考えている。

## 結果の概要 (1)少子化の背景と対策

### ⑤子どもを持つことについての考え(49歳以下)

問40 子どもを持つことについて、どちらの考えに近いですか。(1つに○)

「A:一生子女を持たなくてもよいと思う」ー「B:子どもは持ったほうがよいと思う」

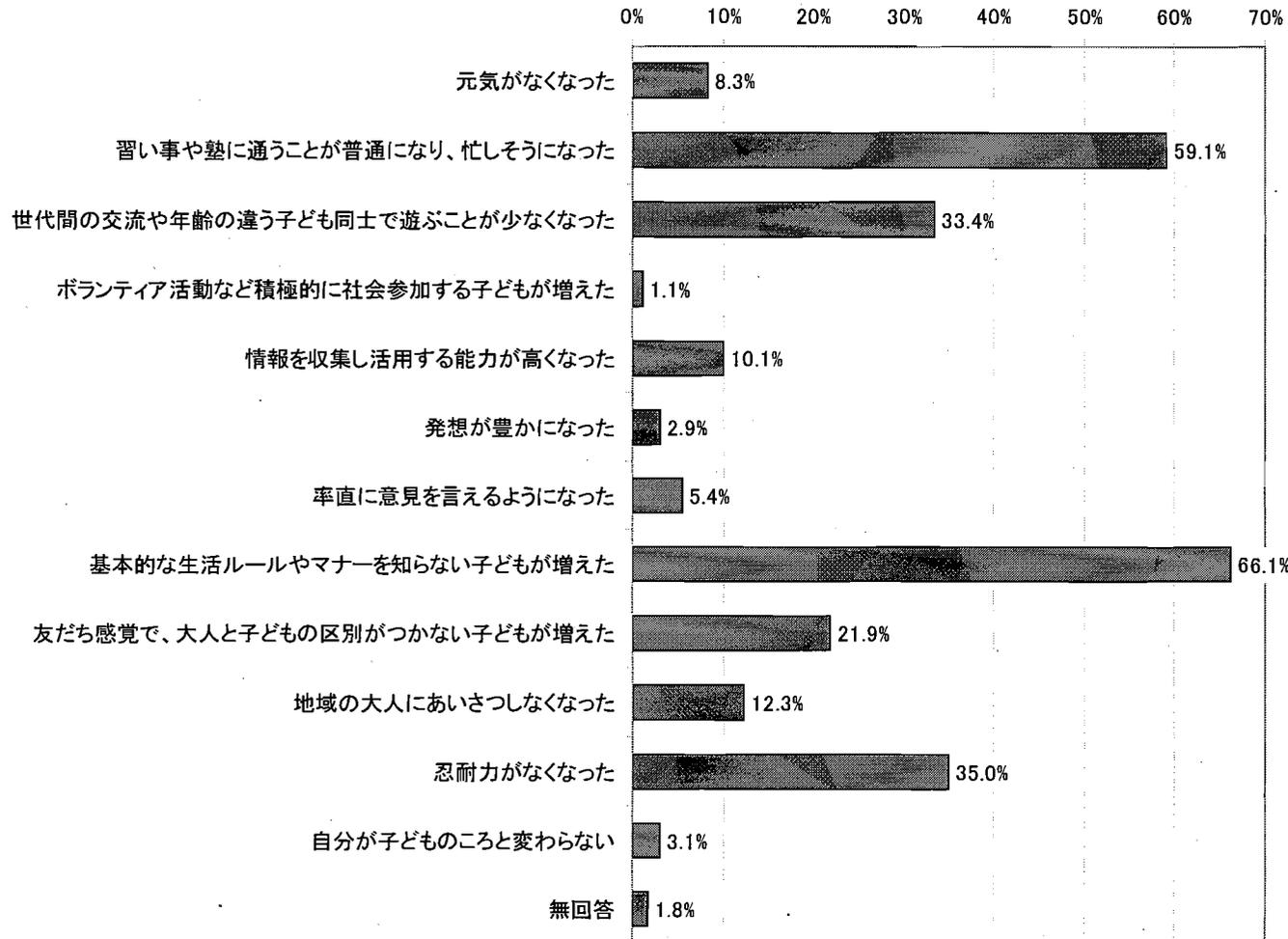


○B「子どもは持った方がよいと思う」に最も近い「Bに近い」が57.9%と最も多く、「Bにやや近い」(21.2%)とあわせると、79.1%が「子どもを持った方がよい」と考えている。

## 結果の概要

# (2) 子ども・子育てを取り巻く環境

## ⑥最近の子どもについて



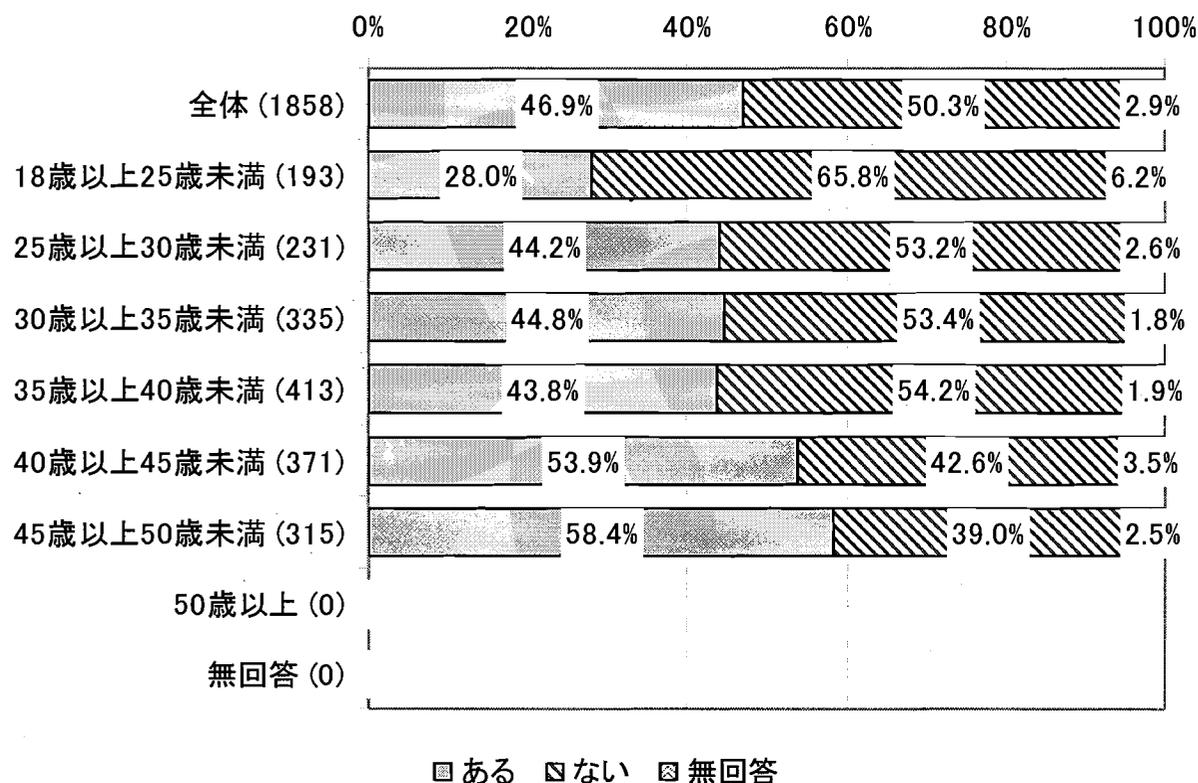
○「基本的な生活ルールやマナーを知らない子どもが増えた」が66.1%と最も多く、次いで「習い事や塾に通うことが普通になり、忙しそうになった」が59.1%と続く。  
○「忍耐力がなくなった」(35.0%)、「大人と子どもの区別がつかない子どもが増えた」(21.9%)、「大人にあいさつしなくなった」(12.3%)とマイナス評価が目立つ。

## 結果の概要

### (3) 子ども・子育て支援への関わりについて

#### ⑦赤ちゃんの世話をしたことがあるか(49歳以下)

問39 お子さんが生まれる前に(いない人は今までに)、赤ちゃんのおむつをかえたり、食事をさせたりしたことがありますか。(1つに○)

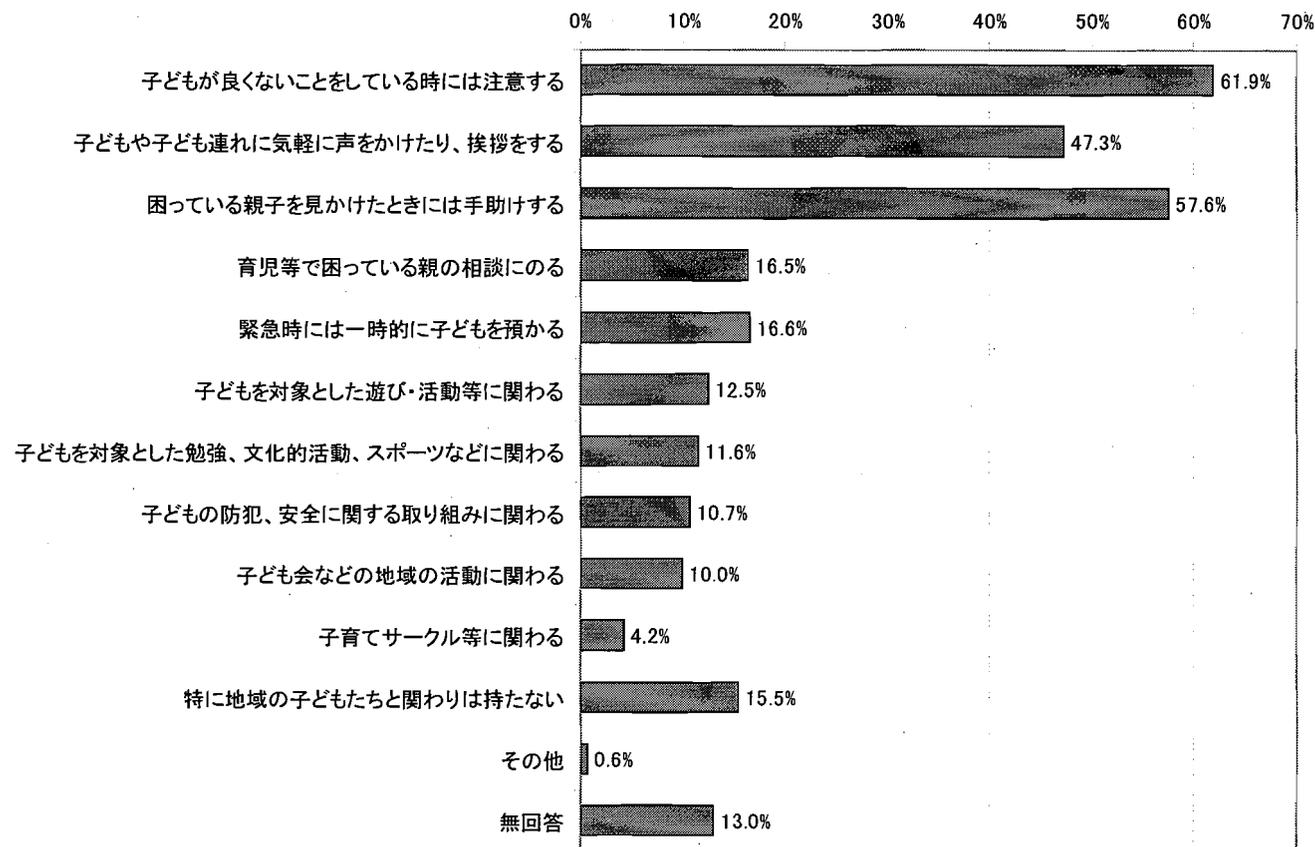


○全体では、「ある」とした人が46.9%、「ない」とした人が50.3%と半数ずつとなっている。  
○年齢別にみると、25歳未満では「ある」が28.0%と「ない」を大きく下回っている。

## 結果の概要 (2)子ども・子育てを取り巻く環境

### ⑧子どもへの関わり【現在】

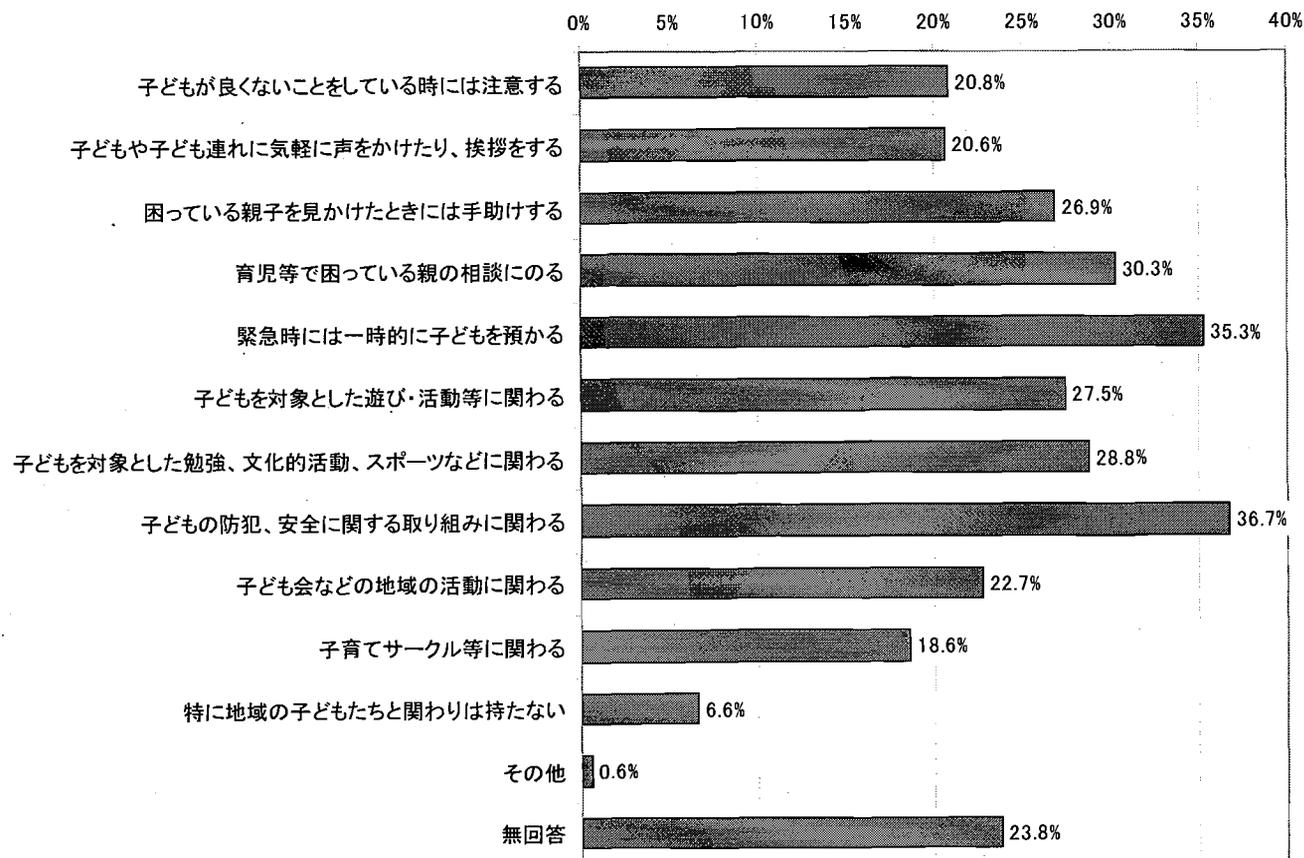
問21 子どもへの関わりについて、現在やっているものはなんですか。  
(すべてに○)



## 結果の概要 (2) 子ども・子育てを取り巻く環境

### ⑧ 子どもへの関わり【今後】

問21 子どもへの関わりについて、今後やってみたいことはなんですか。  
(すべてに○)



○『現在やっていること』に比べ、「こどもに注意する」、「気軽に声をかけたり、挨拶する」「困っている親子に手助けする」以外の項目については、『これからやってみたい』が上回る結果となった。